

# The Top Shelf

## Gaidai Library News

### 特集 The Joy of Reading

## 読書の喜び

読書は様々な喜びを私たちに与えてくれます。まず、知らなかった事を知る喜びや分からなかった事が分かる喜びがあります。さらに、読書を手掛かりに想像する喜びや創造する喜びを体感する人も少なくありません。そうした読書の喜びや楽しみ、読書の価値は、古来より、多くの賢者によって説かれてきました。

ギリシャの哲学者、ソクラテスは「本をよく読み、自分を成長させなさい。本は著者が苦勞して身に付けたことを、いとも簡単に手に入れさせてくれるから」と読書を勧めました。フランス生まれの哲学者、数学者デカルトは「すべて良き書物を読むことは、過去の最も優れた人々と会話を交わすようなものだ」と読書の意味を語りました。『ローマ帝国衰亡史』を著したイギリスの歴史家ギボンが「インドの全財宝を挙ぐるも、読書の楽しみには代え難し」と読書の喜びを表現しました。

読書が一人ひとりの人生を豊かにし、社会をより良くする掛け替えの無い営為であるとする先人達の名言は枚挙に暇なく、それは今日でも変わりありません。むしろ、AIの登場をはじめ社会が歴史的転換期を迎えるなか、読書の価値や読書の喜びは一段と大きくなっていると言えましょう。図書館は、より多くの読書体験を皆さんが重ねていく機会を待っています。

図書館学術情報センター長 藤井英彦

話の続きが気になって本を閉じることが出来ず、夜更かししてしまった…という経験がある人は多いでしょう。違う人物に(時には人間以外に)なって時と場所を自在に移動できる本の中の世界。知識を得るだけでなく、異なるものの見方にはっとしたり、心が温まったり、興味が芽生えたり、一步を踏み出せそうな勇気を得たり……読書の魅力は尽きません。本号の特集題は「読書の喜びーThe Joy of Reading」です。皆さんも一冊、手にとってみませんか。

“ How a Book about Baseball Launched a Career in History ”

Being a lifelong fan of baseball and its history, one of my favorite all-time books is by the famous baseball historian and statistician Bill James. It is called *The Bill James Historical Baseball Abstract*. This massive tome documents the entire history of baseball in America, from the games' infancy in the nineteenth century up to the present. As a boy, I loved reading books about baseball and poring over statistical analysis of players from the past and present. I found reading about this incredibly interesting and intellectually absorbing. I believe my love for baseball history as a boy is what ultimately led me to want to become a professional historian as a young adult, when I was an undergraduate in university. If you are interested in learning more, maybe more than you would ever wish to know, about the history of baseball in America, I cannot recommend a better book than this one.

**Dr. Scott Bailey**

Hometown: Knoxville, Tennessee

University Position: Foreign Studies, Assistant Professor

Educational Background:

BA in History with Honors, East Tennessee State University (1996)

MA in History, Murray State University (1998)

PhD in History, University of Hawaii at Manoa (2008)

Courses: “History of Modern Japan,” “20th Century Asian History through Film,” “Asia in World History to 1500,” and “Asia in World History since 1500”



夏目漱石も絶賛！ ジェイン・オースティンの小説

純文学は小難しいと敬遠していませんか？

10ポンド紙幣の肖像画でお馴染みの英国人作家ジェイン・オースティンの小説のテーマはズバリ結婚。思い違いから始まるエリザベスの恋を描いた『高慢と偏見』、ミステリー仕立てで二度楽しめる、自信家エマの恋の行方を描いた『エマ』、秋の趣漂う待つ女アンのお話『説得』など。

200年前の作品とは思えないほど身近に感じられる人物・心理描写を楽しめば、純文学への抵抗感もなくなるはず！



図書館からのお知らせ

❁ 「第1回学長杯ビブリオバトル」を開催します！

面白いと思った本を一人5分間で紹介する知的書評合戦「ビブリオバトル」を開催します。ビブリオバトルをやりたい方はもちろん、とりあえず見てみたいという方も大歓迎です。

御殿山Learning Commons「華」で実施します。日時など詳細が決まりましたら、図書館ホームページやポスターでお知らせします。

ビブリオバトルとは？

「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに日本全国に広がっている本の紹介コミュニケーションゲームです。



◀ 知的書評合戦  
ビブリオバトル  
公式ウェブサイト

ビブリオバトルの公式ルール

- (1) 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- (2) 順番に一人5分間で本を紹介する。(トークのみ、PowerPointやレジュメは使用不可)
- (3) それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
- (4) すべての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めた本を「チャンプ本」とする。

ビブリオバトル体験記

今年で3年目を迎えるビブリオバトル。みなさんは知っていますか？私は1年目から司書課程での告知やポスターで知ってはいました。しかし、敷居が高いんじゃないかと尻込みして、1年目は参加出来ませんでした。2年目、卒論の指導教授の後押しで参加することになったものの、どの本を紹介したらよいか、また相手に分かりやすく伝えるにはどうすればよいか、とても悩みました。発表を見にきてくれた人達に新たな発見をしてもらいたいという思いから、自身の関心分野(中東関連)の中でも、親しみやすくも、あまり外大の人に読まれていない本を選びました。発表当日、話すことの苦手な私でしたが、本への思いを伝えるために、出来るだけ抑揚をつけ、身振り手振りを交えながら楽しく発表しました。その結果、幸運にも島野さんと同票でチャンプ本に選ばれることが出来ました。ビブリオバトルに参加したことで、本に対する関心がより強くなったと同時に、自身のプレゼン方法を再考する良い機会となりました。



杉本有希さん

英語国際学部英語国際学科2018年3月卒業  
(現・立命館大学修士課程1年)

2017年11月16日に学研都市キャンパスにて開催された第2回ビブリオバトルに参加。

チャンプ本に選ばれた書籍名:

後藤絵美 著

『神のためにまとうヴェール:現代エジプトの女性とイスラーム』

❁ ブックリサイクルを実施します！

「外大祭」の期間(10月26日、27日)にブックリサイクルを実施します。

場所は、中宮と御殿山の両キャンパスの図書館前です。

洋書や和書の貴重な本が見つかるかもしれません。ぜひ、のぞいてみてください。



らりーくん



らいぶちゃん

おすすめの新着図書

図書館に所蔵の書籍です。  
ぜひ、手にとってご覧ください。



御殿山2F  
和文研究書

手塚雄太 著

『近現代日本における  
政党支持基盤の形成と変容』

現在に限らず、政党や政治家は常に批判や悪評にさらされています。それでも政党や政治家が存続し続けるのは、なぜなのでしょう。本書は、1920年代から1960年代までの日本における政党支持基盤がどのように形成され、変容されたかを論じています。恐慌・戦争・復興と激しく変転する時代に、政党政治家がどのように支持基盤を守り、拡大しようとしていたのかを膨大な史料から明らかにしている本書は、政治について考えるヒントが数多く散りばめられています。

ミネルヴァ書房 ISBN 978-4623079063 (運営委員 片山慶隆)



中宮2F  
文庫

ダン・アリエリー 著

『予想通りに不合理：行動経済学が  
明かす「あなたがそれを選ぶわけ」』

従来の経済理論では合理的な主体が仮定される一方で、人々はそれほど合理的ではありません。本書は、合理的ではない人々がどのような間違いを犯すのかを、斬新な実験方法を用いることで明らかにしています。導かれた結果は、特定の場面に当てはまるわけではなく、一般的な原理として成り立っています。人々は予想ができない誤りをするわけではなく、規則性がある間違いを繰り返しているのです。著者は、この予想できる選択行動を人生や政策にどのように役立てることができるのかまで考察を進めています。

早川書房 ISBN 978-4150503918 (運営委員 南村圭哉)



中宮2F  
Asian  
Studies

Edited by Yuji Honjo

*Competition, Innovation,  
and Growth in Japan*

Competition, innovation, and growth are three important concepts in the economy. Demonstrating with unique cases and data from a wide variety of industries, this book discusses these three concepts in Japan and other countries. The book starts with the discussion of competition policy in Japan, and shows how the policy can stimulate innovation in firms. The authors then investigate the effects of human capital and R&D (Research and Development) alliances on firms' innovations and performance. Moreover, by examining high-tech start-ups in Japan, the authors point out the important link between the R&D activities and the emergence of high-tech start-ups.

Springer ISBN 978-981 1038624 (運営委員 Zhaocheng Zeng)



中宮2F  
Asian  
Studies

Edited by Peter A. Hall  
and David Soskice

*Varieties of Capitalism: The Institutional  
Foundations of Comparative Advantage*

This wonderfully edited volume brings together some of the brightest economists and political economists who rigorously investigate questions surrounding the causes and consequences of diverse capitalist structures. For the authors, variance among economic environments is the natural state given the long shadows cast by path dependency, geographic setting and geo-political machinations, existing resources, comparative advantages, and other causal factors which logically condition the observables. For them, the puzzling outcome would be a convergence of economic types, which they empirically illustrate, is a faulty hypothesis despite its popularity among less well-informed consumers (and sometimes producers) of economic and political theory.

Oxford University Press ISBN 978-0199247752  
(運営委員 Jonson N. Porteux)

《編集後記》

読書を楽しんで様々な書籍に触れ、自分の生き方や考え方の変化に喜びを感じていただければと、特集題をThe Joy of Readingとしました。ビブリオバトルでは、これまで手にすることのなかったジャンルの本に出会うことも期待しています。中宮・御殿山の両キャンパスの皆さんの参加をお待ちしています。秋の夜長に読書を楽しんでいただければと思います。

次号は4月発行予定です。なお、本号発行にご協力くださった方々に感謝申し上げます。

図書館学術情報センター運営委員会

\* 利用案内は図書館学術情報センターのホームページの開館カレンダー及び利用ガイドをご覧ください。

*The Top Shelf*  
第9号  
2018年10月発行

関西外国語大学図書館学術情報センター  
<https://library.kansai-gaidai.ac.jp/>

[中宮キャンパス]  
〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1  
TEL (072) 805-2801 (代)

[御殿山キャンパス・グローバルタウン]  
〒573-1008 大阪府枚方市御殿山南町6-1  
TEL (072) 805-2701 (代)

